

# やなかわ

1月1日

## 今号の内容

- ◆市長・議長 年頭のあいさつ 2~3
- ◆3つのメニューで柳川暮らしをお手伝い 4
- ◆技能功労者表彰、消防団大臣表彰 5
- ◆市民のひろば(6-7) ◆川柳(7) ◆図書館・水の郷ニュース、柳川百選まち歩き(8-9) ◆情報わいど(10-15) ◆がんばったね(15-16) ◆もちふみデビュー(17) ◆保健ガイド(18-19) ◆新市史抄片(20)



【右】12月14日、金子市長に受賞を報告した蒲池中学校の北川真由美PTA会長(左から3人目)と吉田直子教頭(左から2人目)【下】12月16日は、保護者らの指導のもと、門松づくりともちつきを行った



## 地域と学校息を合わせ 文科大臣表彰

蒲池スクールサポーターズが12月3日、文部科学大臣表彰を受けました。同グループは、蒲池地区の子どもたちの教育環境の向上を目指して、親子ふれあい行事や花壇づくりなどの活動を年間を通じて行っています。

12月16日には、蒲池中学校で恒例行事の門松づくりともちつきを実施。参加した蒲池小中学校の児童や生徒とその保護者ら約100人は、高さ1.7mのジャンボ門松と50cmほどのミニ門松を作りました。その後、児童や生徒たちが元気にもちつきを行い、参加者たちは、つきたてのもちを笑顔で頬張っていました。



## 新 市史抄片 三瀧庄と三瀧氏について

94

問い合わせ 市生涯学習課市史編さん係 (☎72・1275)



三瀧庄の鎮守大善寺玉垂宮(久留米市)

中世の本市域は三瀧庄という荘園の一部でした。この荘園はNHKの大河ドラマ「平清盛」にも登場した鳥羽上皇がその御願寺として建立した宝蔵院領の荘園で、鎌倉時代の末期に後醍醐天皇によって京都の東寺に施入され東寺領となりました。荘園はほぼ三瀧郡全域とみてよいでしょう。鎌倉初期の公式記録では田数1252町余とあり、筑後では最大級の荘園でした。本市域では、蒲池・田脇・浜武・間などがその範囲に含まれます。

瀧町の役場に東京から三瀧姓を名乗る人が突然訪ねて来られたのがきっかけでした。その方の先祖は米沢藩上杉家の家臣であった由。苗字の8割は地名起源といわれますから、三瀧姓ならそのルーツは筑後の三瀧に相違ありません。でもなぜ東北の地に三瀧姓の人がいるのか、しかも現地三瀧の方には三瀧姓をほとんど見かけません。中世の三瀧地方には伝統的な在地領主がたくさんいました。今回の調査でも筑後三瀧氏に關わる史料は見つかっていません。戦国時代に高三瀧村の小領主であった高三瀧氏は史料も残っていますが、いわゆる三瀧氏の筑後での活動を裏付ける同時代の史料は今のところ皆無です。

また史料面でも、南北朝期に三瀧左衛門大夫、室町期に三瀧掃部左衛門、戦国期上杉謙信麾下に三瀧掃部左衛門宣・同出羽守政長などの存在が確かめられています。筆者も史料編纂所調査の折、室町期に三瀧氏の一族黒川氏の周辺に三瀧弾正・三瀧入道道珍などがいたことを検出しました(三浦和田黒川文書)。

## 編集後記

●1999年7月に人類が滅亡するという予言があった。そして昨年の12月21日、マヤ暦によれば世界の終焉の日だったと噂された。もちろん世界は滅んでいないし人類も健在だ。予言など信じるに足りないが、こつやつて、無事、新年を迎えられる幸せを感謝しようという気にはなった。

●12月13日の深夜、ふたご座流星群を初観察。流れ星を見るのは人生初で、見るまで絶対に寝ないぞと思っ外へ。するとすくすく一筋の光が、意外にあっさり見ることができて少し拍子抜けしたが、約1時間で大小約10個の流れ星に感動。あ、肝心の流れ星に願いをすることを忘れてた。(賢治)

平成24年11月末現在

### 人のうごき

- 人口 71,024人 (前月比-67)
- 男 33,637人 (-52)
- 女 37,387人 (-15)
- 出生 38人、死亡 70人
- 転入 121人、転出 156人
- 世帯数 24,850世帯 (±0)